2025年6月30日

秋山総業株式会社　SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役　秋山　弘之

SDGsの達成に向けた取り組み

土木工事を通じた課題解決で持続可能性の高いまちづくりに貢献していく

〇当社はさいたま市を拠点として、2016年の創業以来約10年にわたり解体工事を中心に事業を行っており、『あなたのまちの解体屋さん』をモットーに、地域の皆様に寄り添った施工に真摯に取り組んできました。今後も、工事の安全性を確保し、環境への影響を抑え、顧客満足度100%を目指すほか、様々な社会課題に向き合っていきます。

〇そのため、地域の空き家問題解決や有効な土地利用に関する工事の受注に力を入れていくほか、重機やトラックの環境配慮型車両への入れ替えを進め、CO2排出量の削減も行っていきます。

〇また、創業以来お世話になっている地域への貢献として、地域イベントへの協賛（浦和レッズ、川越祭り）やボランティア活動への参加を継続していきます。

【指標】

・地域の空き家問題解決や有効な土地利用に関する工事の見積り数／受注数
2024年　月70件／月35件　⇒　2030年　月150件（+80件）／月80件（+45件）
・重機とトラックの環境配慮型車両比率　2024年　33%　⇒　2030年　70%（+37%）
・地域イベントへの協賛やボランティア活動の数　2024年　2件　⇒　2030年　5件（+3件）

多様な人材が活躍できる制度を導入し、ダイバーシティ経営を実践していく

〇多様な人材が活躍できる職場を目指すため、働きがい向上に関する制度の導入を実施し、魅力ある職場の実現に取り組んでいきます。具体的には、ワークライフバランスに関する休暇制度、従業員を適切に評価する仕組み、社内活動の充実化、他を順次行っていきます。

〇信頼される社内体制を整備するため、安全確保やコンプライアンス等に関する社内研修の実施回数を増やしていきます。

〇また、更なる事業の拡大を予定していることから、今後も地域の人材を積極的に採用していくほか、日本の優れた土木技術を広めていくため、外国人実習生の受入れと育成にも力を入れていきます。なお、女性の積極的な採用も予定しており、女性を責任ある職務に配置し、女性リーダーを計画的に育成していきます。

【指標】

・従業員の職場環境改善、健康、働きがいを意識した制度の導入数　⇒　2030年　累計　5件
・年次有給休暇取得率　2024年　50%　⇒　2030年　60%（+10%）
・地域からの新規採用数　2024年　従業員数13名　⇒　2030年　従業員数28名（+15名）
・外国人実習生の受入れ、育成　2024年　2名　⇒　2030年　6名（+4名）
・女性従業員の数／女性リーダー職以上の数　2024年　4名／1名
⇒　2030年　12名（+8名）／3名（+2名）

地域や環境にやさしい環境経営を目指す

〇地域に根ざした土木工事業者の責任として、各種の環境に配慮した取り組み（事務所の節電、環境配慮型車両への入れ替え、ペーパーレス化、他）実施により、会社全体でのCO2排出量の削減を行っていきます。

〇事業から発生する廃棄物については可能な限り3R（リデュース、リユース、リサイクル）を行い、廃棄物の発生量を減らしていくほか、周辺環境や地域の皆様と従業員の健康を守っていきます。